

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	無	応募総企画数	
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※			

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	きぎょうくみあい げきだんかぜのこきゅうしゅう		
	制作団体名	企業組合劇団風の子九州		
	代表者職・氏名	代表理事 仮屋祐一		団体ウェブサイトURL
				https://kazenoko-kyushu.com
	制作団体所在地	〒 814-0002	最寄駅(バス停)	福岡市営地下鉄空港線西新駅
		福岡県福岡市早良区西新5-5-13		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな	げきだんかぜのこきゅうしゅう		
	公演団体名	劇団風の子九州		
	代表者職・氏名	代表 おやまじゅん		団体ウェブサイトURL
				https://kazenoko-kyushu.com
	公演団体所在地	〒 814-0002	最寄駅(バス停)	福岡市営地下鉄空港線西新駅
		福岡県福岡市早良区西新5-5-13		
	制作団体 設立年月	昭和60年 4月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表理事 仮屋祐一 理事 浅野由美子、理事 川島二郎 理事 中嶋 司、監事 矢野ひとみ	俳優:12名、企画制作部:6名 文芸演出部:1名 【合計19名】	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者 を置く	本事業担当者名	仮屋祐一
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	鈴木恵美
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		info@kazenoko-kyushu.or.jp		0928417889

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>私達は、日本の子どもたちに、現実を見つめる勇気と、未来を切り開く知恵と、実りある人間生活を営む豊かな心を育てる糧となる演劇の創造と普及を目的として、1945年に東京・下北沢に専門職業「劇団風の子」をつくりました。企業組合劇団風の子九州は、1985年東京の劇団風の子から運営独立し「劇団風の子九州班」として福岡市に創立され、その後1993年に法人独立し現在に至る。児童・青少年演劇の制作と上演・普及活動を行っている。</p> <p>私達は、2025年創立40周年を迎えました。この間、「子どものいるところどこへでも」をスローガンに年間およそ500～600ステージ、日本全国・海外等あらゆる地域での公演活動を継続してきました。特に九州・福岡拠点の地方劇団として、首都圏等との文化芸術の享受格差の解消を目的に、地方での地位確立を目指してきました。今後も、地域や地方における児童演劇の発展に寄与できる団体を目指し、経営的な安定を目指します</p> <p>*2003年以降ほぼ毎年、文化庁委託・補助事業に採択実績あり。 *年間500ステージ以上、9万以上の子どもたちに観て頂いた実績あり。</p> <p>【主な受賞歴】 ■2005年社会保障審議会推薦児童福祉文化財 特別推薦 ■2019年社会保障審議会推薦児童福祉文化財 児童福祉文化賞受賞 舞台芸術部門</p>	
	学校等における公演実績	<p>劇団創立の翌年1986年より38年以上の学校公演実績あり</p> <p>【2024年度実績】 小学校公演：「このゆびと〜まれ！」 33日48ステージ 「やだ、やだあっかんべ〜！」 69日93ステージ 他、5演目 19日26ステージ 7演目合計 121日167ステージ</p> <p>【2023年度実績】 小学校公演：「やだ、やだあっかんべ〜！」 53日75ステージ 「なるほ堂ものがたり」 44日70ステージ 他、3演目 20日25ステージ 5演目合計 117日170ステージ</p> <p>【2022年度実績】 小学校公演：「やだ、やだあっかんべ〜！」 64日103ステージ 「なるほ堂ものがたり」 23日41ステージ 他、3演目 28日46ステージ 5演目合計 115日190ステージ</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>【福岡県】福岡中央特別支援学校、南福岡特別支援学校、福岡県立特別支援学校北九州高等学園、嘉穂特別支援学校 【長崎県】鶴南特別支援学校、大村特別支援学校、川棚特別支援学校、島原特別支援学校、希望ヶ丘高校特別支援学校、諫早東特別支援学校、諫早特別支援学校 【宮崎県】みなみのかぜ支援学校、赤江まつばら支援学校、清武せいりゅう特別支援学校、くろしお支援学校、児湯るびなす支援学校、みやざき中央支援学校 【沖縄県】島尻特別支援学校、宮古特別支援学校 【福島県】大笹生支援学校 【広島県】広島県立呉南特別支援学校 【岡山県】岡山県健康の森学園支援学校</p> <p>ほか公演実績多数</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料		有	
	※公開資料有の場合URL		https://youtu.be/HPHBHrVmi3I	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード		ID:	なし
			PW:	なし

別添

あり

【公演団体名

劇団風の子九州

】

対象

小学生(低学年)

○

小学生(中学年)

○

小学生(高学年)

○

中学生

-

企画名

空想力は生きる力！「このゆびと～まれ！」公演

企画のねらい

☆現場の先生方や本作の主人公と同じ小4の子供たちへのインタビュー等を経て制作したオリジナル作品。等身大の子どもたちの本音を代弁し、身近な友達や親子関係を題材にしているので児童が興味をもって鑑賞でき、芸術鑑賞能力の向上を図り、教育的効果が期待できます。

☆舞台転換も見ものです。中央に廻り舞台を設置し、三面の舞台が場面毎にクルクル回転します。また大海原の場面では廻り舞台が三つに分割され、それぞれ独立して動き出し、あっという間に大海原に浮かぶ大海賊船が登場したり、ジャングルが登場したりします。目の前のスペクタクルな光景は舞台美術としても芸術性に富むものであり、児童が興味持って鑑賞できます。

こども達の心が大きく動くことで、物語がこども達自身のものになり、自分を見詰めたり、友達に共感できる豊かな感性を育てたいと企画しました。

演目概要・演目選択理由

演目概要:タイトル「このゆびと～まれ！」

(あらすじ) ヒロは小学4年生。空想遊び(ごっこあそび)の天才、いつも色々な人物になりきっています。そのためクラスではちょっと浮いた存在。父親は長期入院中で、母親は入院費を稼ぐために残業も多く、ヒロは近所の駄菓子屋のばあちゃん(スエコ)や大工のじいちゃん(銀蔵)に面倒をみてもらっています。ヒロの日課はスエコの飼犬の鉄(テツ)の散歩に出かけること。その散歩はヒロの大好きな空想の時間。あるときは洞窟探検のヒロ隊長、またあるときは大海賊キャプテンヒロに大変身。ある日、クラスで起きた事件をきっかけに、ヒロはクラスで一番頭のいいマモルを空想の世界へ誘います。実はマモルは成績の良いヒロをバカにしていました。喜ぶヒロと戸惑うマモルは遊びの力を呼び戻す空想珠(くうそうだま)を探しに無限島へ出発することに！過酷な冒険の末、空想球を取り戻した二人に友情が芽生えます。子供たちの本来持っている想像力にエールを送る作品です。

演目選択理由:まずは子どもたちに、体育館の半分ほどが舞台空間となるスケールの大きなセットに出会わせ、映像とは違う目の前であつという間に様々な場面に変化する生の舞台セットの醍醐味を味わってもらいたいです。また、等身大の現代の子どもたちのドラマとしての面白さや役者の演技を通して、将来を担う子どもたちが演劇に興味や関心を持ち、豊かな感性を育む演目であると自負します。

①オープニング

プロローグのヒロの空想の場面。映画「インディージョーンズ」風に洞窟の中で敵に追われているヒロと鉄(人間)にまわりつく、コウモリをクロスと一緒に演じてもらいます。先端にコウモリの付いた針金を持ち演じます。せりふはないが、緊張感の必要な場面。でも「だるまさんがころんだ」のような緊張と緩和のあそび感満載の表現です。ただしお客さんに「この場面をちゃんと伝える。」ということ意識して演じるという事も指導します。コウモリは手作りでも良いし、劇団でも用意できます。出演者上限6名。



*やる気マンマンの子どもたち



*コスチュームにもこだわりました。

②エンディング

子どもたちと出演者でテーマソング「このゆびと～まれ！」の歌をうたいながら踊ってもらいます。ドラマ観劇後の昂揚感にふさわしい楽しく元気な歌と踊りです。可能であれば、各自海賊の衣装や帽子を製作し着けてもらいます。出演者上限40名

児童・生徒の参加または体験の形態



※最後に記念撮影、ポーズを決めて！

児童・生徒の参加可能人数

本公演

参加・体験人数目安

40名以下

鑑賞人数目安

500名以下

本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	本公演演目：「このゆびと〜まれ！」 作・演出：あさのゆみこ 音楽・効果：曲尾友克 美術：山本佐助、小峯三奈					
	公演時間	75	分			
出演者	寺崎花絵、矢野武徳、岩永浩子、山本佐助、おやまじゅん、小池勇治、藤田莉帆、三岳純子 (変更になる場合あり)					
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	■作・演出:あさのゆみこ 1985年より俳優として活動開始、1989年より脚本執筆を始める。これまでに11作品の脚本・脚色を手掛ける。 2002年より演出も手掛ける。これまでに14の演出作品あり。劇団風の子九州専属の演出家である。 ■メインキャスト:山本佐助 1988年より俳優として活動開始、現在までに14作品に出演、舞台監督も務める。 1995年より美術担当も兼任、さらに2003年からは作・脚本も手掛ける。 ■音楽・効果:曲尾友克 多くの劇団から厚い信頼を得ている音楽家である。 1995年より劇団風の子九州作品の音楽・効果を担当、これまでに21作品に関わる。					
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者：8名 スタッフ：1名 合 計：9名		運搬		積載量：1t 車 長：6.99m 台 数：2台	
本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間	
	到着	仕込	上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00～11:00	13:30～14:45	なし	15:30～17:30	
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。					
本公演 実施可能日数 目安 ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月	
	12日		0日		0日	
	10月		11月		12月	
	21日		5日		14日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。		計		55日	

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※会場条件について最低限必要な条件がある場合には、様式No.4内「会場簡易図面」を記載してください。



舞台全景



駄菓子屋のペット犬・鉄



ヒロの部屋のもぐらたたき



海賊船で宝を探しに！



ダイジャジャーに襲われるヒロ



ラスボスババーリンに立ち向かうマモル



児童出演場面

著作権、上演権等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名		許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

劇団風の子九州

】

ワークショップの内容

ワークショップのねらい

①子どもたちは思春期の入口にさしかかる頃、自我の目覚めと共に他者からの目を意識し始めます。そのことにより人前に立つ、または人前で話す、ましてや人前で演じるということに相当なプレッシャーを感じる子どももいます。そこで演劇とは「ごっこ遊び」や「まねっこあそび」の延長であり、今回の舞台表現は「遊び」としてみんなで楽しんで演じてほしい」と伝えるためのワークを心がけます。

②学校側としては、出演出来る児童を選抜するのが難しく、クラス全員で取り組みたいとの要望があります。そこで、ワークショップとその後の本番に向けての練習をクラス一丸で取り組んでもらい、クラスの団結という協調性をも育む教育的効果を目指してもらいます。

* 事前に、実際の子どもたち出演場面のDVDや、歌ってもらうテーマソングの楽譜やCD音源を送付して、出演場面のイメージを持ってもらったり、テーマソングを聞いてもらったり練習してもらい、ワークや本番に向けてのワクワク感を醸成してもらいます。
ワーク当日は、最後に、お互いの練習の成果を発表し合い、出演する際の慣れや観てもらう感覚を自覚してもらい、本番に向けて更なる精進を促します。

児童・生徒の参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

35名以下

ワークショップ実施形態及び内容

※ 最初の劇団紹介後、子どもたちの緊張を取り除く意味合いで、アイスブレイク的な遊びのワークショップを行います。その後、話の大筋と出演シーンのイメージを共有してもらうために、紙芝居形式でストーリーを説明します。その後、プロローグチームとエンディングチームに別れて練習をします。

☆ プロローグの場面。洞窟の中、こうもりチームは上手(かみて)チーム、下手(しもて)チームに分かれ、リーダーの俳優を中心に演技を創っていきます。息のあった表現を迫及してもらい、協調性を高めてもらいたいと考えます。

☆ エンディングの場面。ダンスチームはテーマソングの歌詞に沿って、当て振りの覚えやすい振付を練習し、みんなで思いきり表現する楽しみを体験してもらいます。

※ワークショップに参加できないクラスにはテーマソングの歌のCDを配布し、本番までに覚えてもらい、ラストシーンでは全校児童で合唱してもらいます。

☆ 発表の時間は他のグループの表現をお互い見合い、自分たちの表現の振り返りをしてもらい、「観客に伝える表現」というものを意識してもらいます。このことにより友達の違った一面を感じ、自分の新たな可能性を発見してもらい、自他共に認め合う事でコミュニケーション能力の育成を図りたいと考えます。

その他ワークショップに関する特記事項等

特別支援学校では、各子どもたちの被支援の状況を先生方と綿密に打合せを行い、表現方法の可能性を探っていきます。例としては、ベットの子どもさんに鳴り物を持ってリズムをとってもらい、車椅子の子どもさんは先生が一人ずつ付いて車椅子ダンスを披露したことがあります。

*コロナ禍での本事業において、学校(教育委員会)側から子どもたちが舞台で歌うことの自粛を求められたケースが数校ありました。そこで、テーマソングの歌詞を手話で表現してもらい、本事業のねらいである共演での舞台芸術とのふれあいを保証できたと考えます。

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名 劇団風の子九州 】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
会場の設置階の制限		2F以上応相談		主幹引き込み電源容量		60 A以上
舞台設置面積	間口	14 m		奥行	12 m	
	高さ	5 m				
舞台設置場所	フロア対応	可		学校のステージでの対応		不可
搬入間口の広さ	幅	1.8 m		高さ	1.8 m	
遮光の要否	5割程度必要		緞帳の要否			有無のみ確認したい
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定			
			ピアノを使用しない場合の移動の要否			不要
搬入車両(トラック等)の横づけ	必須		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離			10 m以内
搬入車両の種類	中型トラック		台数	2 台		
搬入車両の大きさ	車幅	2.08 m		車長	6.99 m	
備考	■車両2台：マイクロバス(幅2.08m、長さ6.99m、高さ2.63m) ハイエースロング(幅1.88m、長さ5.38m、高さ2.28m) ■舞台の奥行は、大黒幕ウラの通路確保分を含みます、 実施校の状況に応じて対応可能です。					

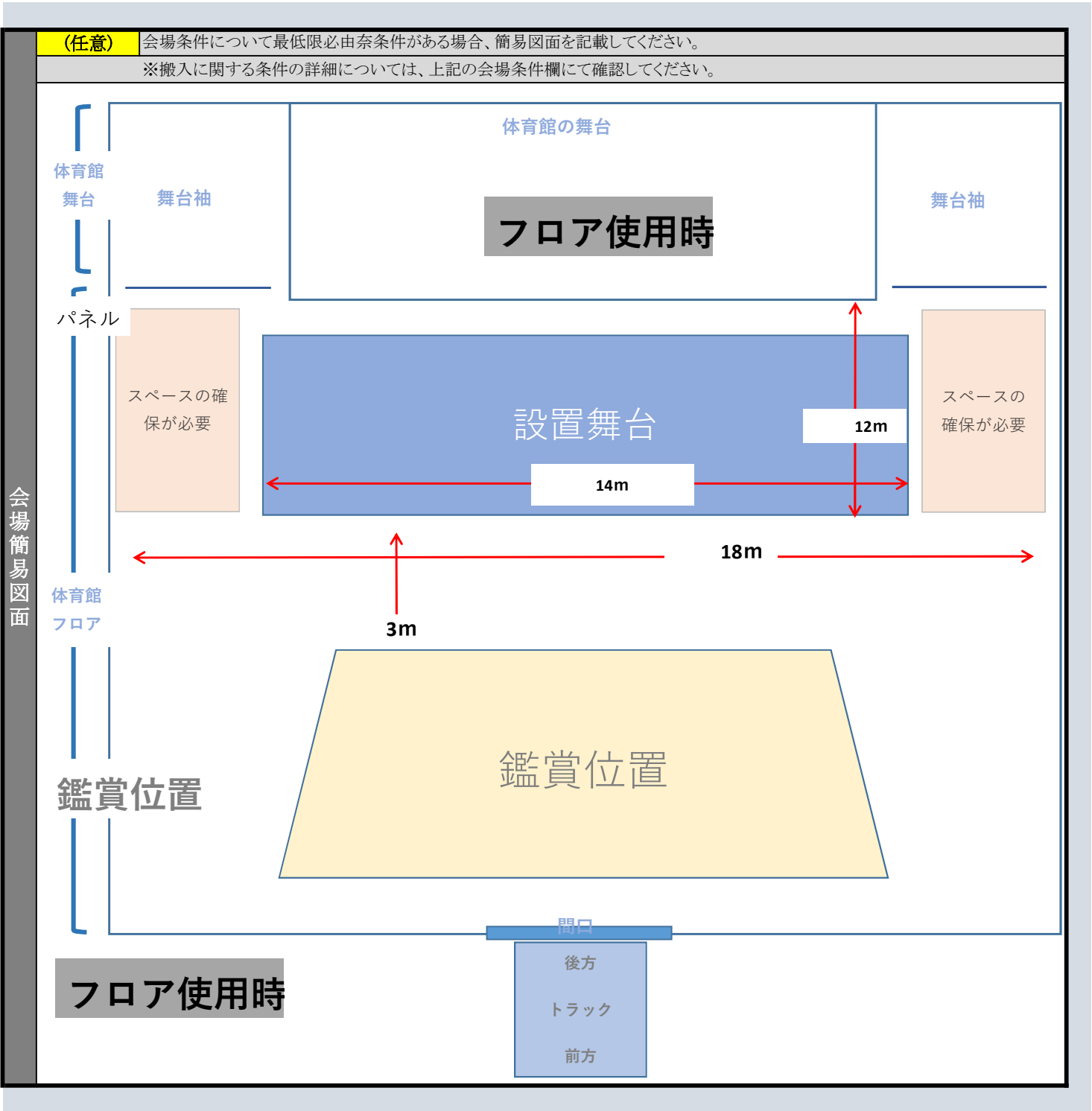
※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	下見の折に車両搬入経路をお伺いします。	

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合については、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	40分	午前公演の場合1時間目 午後公演の場合3時間目	出演児童のリハーサル (舞台装置設置後、出演場面での登場、退場の練習、演技空間の立ち位置についての説明等)	
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1	搬入口と合わせて、児童出入口	
	2		
	3		



別添

なし

【公演団体名

劇団風の子九州

】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

＊少子化や経済格差の影響で激減しつつある学校における鑑賞行事の起爆剤として、本事業の手を借り、子どもたちの芸術鑑賞能力の向上を図りたい。

＊子どもたちにワクワクドキドキの鑑賞と体験を味わってもらい、芸術に関心を持つ子どもたちを育て、将来の観客や芸術家の育成を目指し、文化芸術立国に寄与したい。

＊文化庁の事業なので、教育関係だけでなく一般社会（保護者）にも、児童演劇ジャンルと児童劇団の可視化を目指し、子どもたちこそ芸術が必要という認識を拡げること努めたい。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

＊採択地の各市町村と連絡を取り合い、事業のアピールと充実を訴えたい。

＊出演シーンを楽しい場面に設定して、出演する子どもたちの緊張をなるべく取り除き、表現することの楽しさを体験してもらい、表現力の醸成を図ります。また、ワークショップも体育館といった空間を使った遊びワークから入り、

＊事業の推進と舞台芸術の必要性をアピールするために、積極的にマスコミに発信し、広報としての役割を担ってもらいます。

本事業への応募理由等

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫

【学校との連絡調整について】

＊採択決定後、新学期のなるべく早い時期に、採択校の担当者に事業の説明を含めたあいさつの連絡を入れ、映像や音源等の資料を送付し、担当教諭と子どもたちが本事業をイメージしやすいように心がけます。ワークショップ実施日、本公演日を記入した資料を作成し、可視化して両者間違えないように心がけます。

＊終演後は、出演した子どもたちと一緒に舞台上で記念撮影して、お互いの労をねぎらいます。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

＊ワークショップ・リハーサル等は、楽しい雰囲気を作りながらも、子どもたちにも限られた時間の中で集中の大切さと、出演することの緊張感と責任感を意識させながらも、団結力を高めコミュニケーション力の向上を目指します。

＊終演後は、出演した子どもたちと一緒に舞台上で記念撮影して、お互いの労をねぎらいます。

【特別な配慮が必要な児童について】

事前に必ず実施校の意向を確認します。

光や大きな音、いつもと違う場所（舞台装置がある体育館）が苦手な児童がいる場合、舞台装置が整ったところ、会場に一度入ってもらい、どの程度の光・音であるか、いつもとどのように違っているか等確認してもらいます。

事前に知ることのできる場合も多くあります。

難しい場合はご担当の先生方と対応を検討します。

これまでに難聴の児童がいらして、事前に脚本がほしいと要望されたことがあります。脚本と上演DVDを送付し、先生よりあらすじ等を説明して頂きました。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

学校での観劇後、劇団のホームページを検索し他県での劇団自主公演を家族で観にきてくれた児童がいました。そのように学校での観劇をきっかけに演劇に興味を持ち継続的な観客になって豊かな芸術世界を享受する喜びを学んでほしいです。

リンク先	No.2	【公演団体名	劇団風の子九州	】
子どもたち・先生方からの感想	【劇団に届いた子どもたち・先生からの感想】			
	子どもたちより			
	●ヒロのあそんでいるところがたのしそうでした。わたしもヒロとあそびたいとおもいました。わたしもくそうだまがほしいとおもいました。(1年女子)			
	●こんなおもしろかったとはおもいませんでした。ついむ中になってしまって体操ずわりがくずれておかあさんずわりになってしまって先生に注意されました。(2年男子)			
	●ぼくは、すごく鉄がかわいかったと思います。ぼくはあの場面がかわるのがすきです。そうぞうのせかいはずごくおもしろかったです。まさかあのくそう玉がどろだんごだなんてしりませんでした。(3年男子)			
	●おもしろかった場面は、いくつかあります。それは、みなさんが何かを言ったり、空想玉をとりにつたり、ひろの家でこけたりする場面がおもしろかったです。戦争の話に変わったとき、「戦争はぜったいにしたくないな、食べ物こそまつにしたらいいな」と思いました。(5年女子)			
	●修学旅行準備中で少しつかれているけれどそのつかれがふきとぶくらの楽しい思い出となりました。一度入ったらもう抜けられないような劇の世界観がすごくおもしろくて、笑いすぎて、前の席にすわっていた5年生に「もう少し静かにして」と注意を受けたくらい腹をかかえて笑いました。(6年男子)			
	●私が一番おもしろいな〜と思ったのは、ヒロの性格です。たくさん笑っていたり、自分の世界にどんどん入っていったりするの、すごくおもしろかったです。犬の鉄も、リアルでかわいかったです。ステージがどくどくで、次から次へと本のページをめくるように変わっていくのが見ていてびっくりしました。(6年女子)			
	先生方より			
	●事前にリーフレットやDVDは、いただいておりましたが、やはり「百聞は一見にしかず」で、作品の魅力は、ストーリー、演じる方のパワー、舞台の設定、場面移動へのどれもこれもが全校児童と職員を惹きつけるものでした。終了後、子どもたちから「めっちゃくちゃたのしかった」と声をかけられました。			
	●子どもの心理をつかまれ、楽しく面白く想像力豊かな物語でした。特に、海賊ごっこでまもるが変わっていく姿、その影響を与えるヒロのつながりがよかったし、お母さんがたをも変えていく強い心をもつようになったまもるに、未来を感じました。			
	●舞台装置の転換・笑いの要素・感動のシーン・心に訴える効果など、本当に魅力溢れる舞台でした。最高でした！			